

12

みずいぼ（伝染性軟属腫^{なんぞくしゅ}）

プールの時期になると相談が増える感染症

1 病原体名

伝染性軟属腫ウイルス

2 年齢層

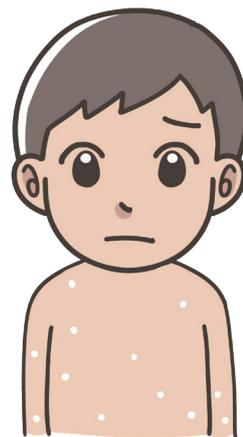
7歳以下の子どもに多く見られます。

3 潜伏期間

2～7週間（6か月のことも）

4 症状とケア

- ☑ 表面に光沢があり、中心が少しくぼんだ2-5mmのいぼのような発しんです。水ほう（水ぶくれ）のようにも見えることもあります。
- ☑ 主にお腹や背中、手足に出ますが、脇の下や腕の内側など皮膚がこすれる部分では、広がることもあります。一か所に多くのいぼが集まることもあります。
- ☑ 身体のほかの部位に広げないために、保湿剤などを使って皮膚のバリア機能を保ちましょう。



5 診断と治療

- ✓ 皮膚の症状や患者の年齢などから診断します。
- ✓ 治療は、痛くないように麻酔のシールを皮膚に貼ってから専用のピンセットで内容物を出したり、液体窒素を使うこともあります。
- ✓ みずいぼは、6か月～3年ほどで免疫ができて自然に消えるので、そのまま様子を見ることもあります。医師によく相談しましょう。

6 家庭に持ち込まないために

- ✓ 特別なワクチンはありません。
- ✓ 感染経路は接触感染です。
- ✓ 日常的に手洗いなどの一般的な予防法が有効です。

7 周囲に拡げないために

- ✓ いぼは触らないようにしましょう。いぼがつぶれると出てくる、白い芯のようなかたまりの中に病原体が多く含まれるので、特に気を付けましょう。
- ✓ プールの後はシャワーで肌をきれいに洗いましょう。
- ✓ プールの水では感染しませんが、タオル、浮輪、ビート板などを介してうつることがあります。症状のある方とこれらの共用はできるだけさけましょう。
- ✓ 登校・登園を控える必要はありません。